

老眼治療

加齢とともにピントを調節する水晶体の柔軟性が失われて、近くが見えにくくなるのが老眼です。老眼鏡のほか、老眼鏡を使用したくないとご希望される患者様には下記のような老眼治療を行っています。目の状態やライフスタイルにより、見え方のご希望は人それぞれです。患者様のお話をよくうかがって最適な治療をご案内いたします。

老眼治療の種類

●モノビジョン

左右のピントの位置を少しずつずらして矯正することで、片目で遠く、片目で近くを見やすくします。

●遠視レーシック

レーシックで角膜を凸状のカーブに調整して、近方視力の改善を得ます。

●多焦点眼内レンズ

白内障の手術の際に、遠近両用タイプや三焦点タイプの多焦点眼内レンズを用いることで、老眼も同時に治療します。

近視進行予防

近年、世界的に近視が急増しています。近視になると将来様々な眼疾患にかかりやすくなります。南青山アイクリニックでは、近視進行抑制専門外来にて、お子さんの視力の相談や近視進行予防のための治療を行っています。

各種保険取扱

●診療受付時間 9:30～12:00 / 14:00～17:30

受付時間	日	月	火	水	木	金	土
9:30～12:00	○	○	—	○	○	○	○
14:00～17:30	○	○	—	○	○	○	○

※土曜日・日曜日も診療致します。

※祝祭日は、月曜日のみ休診となります。月曜以外の祝祭日は診療致します。

※英語対応可能です。

当院は**予約制**となっております。
お気軽にお問い合わせください。

03-6633-4872



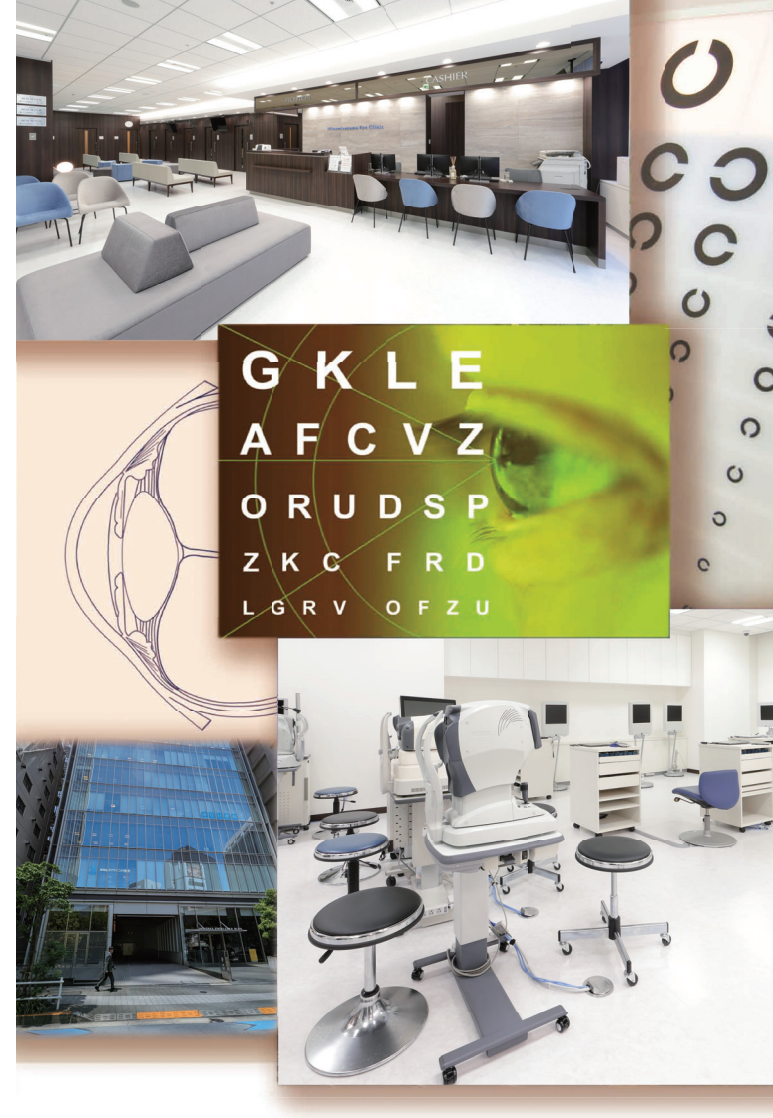
<https://www.minamiaoyama.or.jp>



医療法人社団

南青山アイクリニック

〒107-0052 東京都港区赤坂1-7-1 赤坂榎坂ビル2階



最先端の技術で患者様に最適な治療を提供しております。

南青山アイクリニック



ごあいさつ

南青山アイクリニックは1997年に南青山で開院し、現在は総合眼科診療クリニックとして様々な眼の疾患の診療をおこなっております。一般的な眼科疾患の他、屈折矯正手術（レーシックやICLなどの視力矯正）、小児の近視進行予防、円錐角膜、角膜移植などの特殊治療も行っております。一人ひとりの患者様の状態に合わせた丁寧な診療を心がけております。小さな不調でも気軽にご相談いただければと思います。また土日の診療や外国人患者様にも対応させていただいております。2024年1月より赤坂榎坂ビルに移転いたしました。

今までの28年の経験をもとに、最新眼科医療の提供と地域医療への貢献を行っていきたく思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

院長 戸田 郁子 Ikuko Toda

筑波大学医学専門学群卒。
慈恵医科大学、東京歯科大学、
ハーバード大学眼研究所等を経て現職。
慶應義塾大学医学部眼科講師。

副院長 三木 恵美子 Emiko Miki

副院長 福本 光樹 Teruki Fukumoto

その他、非常勤専門医 約25名

眼科全般

目の定期検診、目が疲れる、見づらい、痛い、かゆい、充血する、腫れたなどの目の不調、どのようなことでもご相談ください。コンタクトレンズ処方、メガネ処方、セカンド・オピニオンも受け付けております。

白内障治療

単焦点、多焦点、乱視用も揃えています。

従来からの保険適用の単焦点
眼内レンズでの手術のほかに、手術後にメガネの使用が少なくなる遠近両用タイプの多焦点レンズによる手術を行っております。



▲多焦点レンズの一例

白内障手術は日帰りで行っております。ご希望の方には近隣のホテルのご案内も可能です。

ドライアイ・疲れ目・アレルギー

パソコン作業で目が疲れる、コンタクトレンズが合わない、充血するなどの症状に悩まされている方が増えています。矯正度数があっていないことや、ドライアイ、アレルギーなどが主な原因であることが多く、適切な治療で症状を改善できます。ドライアイの方に対しては、涙点プラグ、血清点眼、ひまし油点眼など、専門的な治療も可能です。また、温熱治療システム「リビフロー」やパルス光線治療（IPL）によるマイボーム腺機能不全の先端治療にも取り組んでいます。

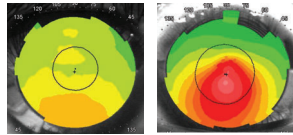


▲ルミナス社 M22™

円錐角膜治療

円錐角膜は、角膜中央部が突出する原因不明の疾患です。進行すると、眼鏡が合わなくなり、角膜移植が必要になることもあります。10代で発症することが多く、もとの状態に戻すことはできません。

南青山アイクリニックでは、進行予防（角膜クロスリンク）、様々な特殊コンタクトレンズの処方が可能です。



▲軽度円錐角膜 ▲重度円錐角膜

緑内障・網膜疾患

現在の中途失明の1位、40歳以上では20人に1人が緑内障という報告があります。緑内障専門の医師による緑内障外来を開設しています。網膜専門外来では、進行予防を目的としたサプリメント指導や硝子体注射、網膜硝子体手術のほか、必要に応じて大学病院の専門外来をご紹介します。

緑内障専門外来：週2～3回

網膜硝子体外来：週2回

眼科ドック・眼のアンチエイジング

眼科ドックでは、目の健康状態を詳しく丁寧に検査・診断いたします。自覚症状のない緑内障や網膜裂孔など、さまざまな病気を早期発見します。40歳を過ぎたらぜひお受けください。

（所要時間：2時間程度）

眼のアンチエイジングでは、加齢に伴う眼疾患予防に適したサプリメントのアドバイス、老眼や視力のご相談、生活指導などを行っております。また、眼科専門医による眼瞼下垂（瞼が下がる）の治療も行っております。詳しくはお問い合わせください。

視力矯正

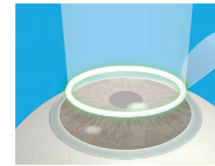
日本の屈折矯正手術のパイオニアです。患者様に最良の治療をご提案しております。

メガネ・コンタクトレンズ

角膜や涙の状態を診察し、目的やライフスタイルに合ったメガネやコンタクトレンズを処方いたします。

レーシック／カスタムレーシック

近視、遠視、乱視をレーザーで角膜のカーブを変えて視力を矯正する手術です。南青山アイクリニックでは1997年より角膜診療を専門とする眼科専門医により治療をスタートし、長年の豊富な経験に基づいた質の高い治療を行っております。



▲治療イメージ

スマイル Pro

フェムトセカンドレーザーで角膜実質層に切片を作成後それを小さい切開創から取り出すことにより視力を矯正する手術です。レーシックと同じく角膜のカーブを変えて近視や乱視を矯正しますが、角膜の切開幅が小さいため、角膜の負担がより少なくなりました。

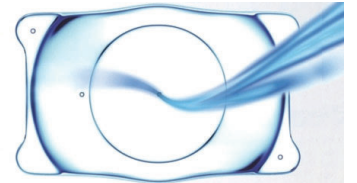
オルソケラトロジー

夜間睡眠中に角膜矯正用のハードコンタクトレンズを装着して、角膜の形にクセをつけて近視を矯正し、昼間にメガネやコンタクトレンズを不要にする治療です。南青山アイクリニックでは、日本人の角膜に合うようにデザインされ厚生労働省の認可を得た「ブレスオーコレクト®」を扱っています。

※保険適用となる治療と自由診療となる治療があります。
ご不明な点はお気軽に医師・スタッフにご相談ください。

ICL（眼内コンタクトレンズ）

コンタクトレンズのような小さなレンズを眼の中に挿入する治療です。近視や遠視、乱視が強い方、角膜が薄くてレーシックが



▲ICL

できない方などに有効な選択肢となります。レンズは白内障手術で用いるレンズと同じ素材です。角膜の小さな切開創から虹彩（茶目の部分）と水晶体の間にレンズを入れます。手術は片眼20分程度で、術後すぐに視力回復が得られます。

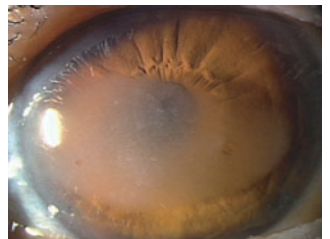
2002年に厚生労働省に承認されており、副院長の三木医師はエキスパートインストラクターに認定されています。

PTK（治療的表層角膜切除術）

PTKとは、混濁した角膜の表層にエキシマレーザーを短時間照射し、混濁を除去する治療です。角膜混濁による視力低下が認められる場合、視力向上に非常に有効な治療となります。

角膜ジストロフィーや帯状角膜変性に対するPTK手術は保険適用です。

当院では、PTKに有用な厚生労働省認可のエキシマレーザーを使用しております。



▲角膜混濁の一例